

舞う大山

高退協親睦旅行

親睦旅行は十一月五・六日松江方面へ行つた。主な行先は松江城、松江温泉、松江フォーゲルパーク、清水寺、アジア博物館、井上靖記念館である。十月末から急に寒くなり、参加者の減少を心配したが、目標の三十名であった。

松江の鯛めしは、鯛の白身と卵黄卵白を蒸したものをご飯にのせ、だし汁をかけて食べる珍しい料理である。

小泉八雲記念館では八雲についての映像を録音で解説していた。一人か二人で見ると小さなものである。日本語・英語・韓国語・中国語のボタンがあった。私が英語を押して聴きはじめる、見知らぬ男が日本語のボタンを押して離れていった。なぜ勝手に押したのか、私がどれだけ英語を理解しようが他人が介入することではない。おせっかいなやつである。

松江城の堀を小舟で一周した。低い橋の下もくぐつた。額がぶつかると橋桁が折れるので、私は寝転んで頭を低くした。乗る前にいちじくビールを飲み、舟の上で尿意をもよおして困った。

清水寺で精進料理をいただいた。くずの粉で作ったイカのさしみもどきを私は



高橋正先生の著書

「出版祝賀会」賑わう

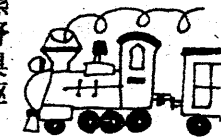
高退協会員高橋正さんの著書「西園寺公と明治の文豪たち」の出版を祝う会が9月29日夜、高知会館で開催され、約二百人の友人知人等が出席し大変賑やかな会となりました。

高退協の会員20名以上が出席し出版を祝うと同時に旧交を温め合いました。

本物のイカと思った。大豆の蒲焼きを本物のうなぎであると思つて食べた者もいる。すまし汁や茶碗むしは熱くて腹まで温まった。中国地方最高峰の大山の麓を回つた。青空を背景に雪におおわれ、高速バスから見る大山は美しく舞つている。

旅のしおり

熊野奥駆け



9月のはじめに「熊野奥駆け道」の北半分を歩いた。さくらの名所・吉野山から熊野本宮大社まで、紀伊半島の中央部を南北に縦断する大峯山系をつなぐほぼ100キロの尾根道の半分である。

75摩きの行場といつて修験道の行場が75あり、山伏姿の信者たちが錫杖を手に歩く姿が、以前テレビで放映されたことがある。最近「ユネスコ世界遺産に」という動きもあるらしい。朝早く吉野を出て山上ヶ岳(1719m)をめざす。

途中、「女人結界門」があった。門のかたわらに、「平成9年誤つて報道されましたが、本山は……」といった、女人禁制を強調する大きな立看板である。

山上ヶ岳には修験道の山上本堂・大峯山寺があり、信者にとつては神聖な場所らしい。

今の世に女人禁制とは笑える話ではあるが、笑つてはいけない。大田大阪府知事さまですら、いまだ大相撲の土俵に上がれない国なのだから。抗議の落書きがあつたが当然だろう。

せめてもの武士の情けか？、門はいずれも三叉路つまりエスケープの道があるところと設けられている。大普賢岳(1780m)、行者還岳、彌山(1891m)、八経ヶ岳(1915m)近畿の最高峰、仏生ヶ岳、釈迦ヶ岳、大日岳など抹茶くさい名前の山が続く。尾根筋をたどる道だがアップダウンはきつ、鎖にすがって降りたかと思えばすぐ急な登りになる。それだけ

に横々から深く切れ落ちる断崖絶壁はすばらしい。西の覗きから逆さづりにされれば、いかな悪者でも音を上げるだろう。これが修行の一つだそうだから修験道もいかがわしいものだ。毎日9時間前後、3日間歩き里に下りた。だがバス停まではさらに3時間歩かねばならない。

私の健康法

上岡 積

「書きましよう」と言つたが、健康法について、何も留意してないことに気がついた。

毎朝6時過ぎに起き、朝食をつくり、食後、痛風と血圧薬を飲む、血圧薬は10年前に、ぼつぼつ飲むようになった。98年から飲み始めた。

起きて、先ず氷水を一杯、カキ茶・牛乳で朝食を取り、薬・ウコン・黒酢を飲む。月・水・金の午前は下手なテニスをし、雨なら庭小屋でござを洗っている。

計画や準備をして過ごす車も、年1万キロをめどに走らせている。屋食は、うどんか日本ソバ、食生活は夜が本番、サシミを中心にビールは2本で終了。

元気のみなものは、痛風に良くないと知りながら、毎晩飲んでくれと言うビールと、あれこれ企畫し、物作りと、針木の仲間と街頭に立ちマイクを握ることではないかと思う。

和田 明

第16回高知県高齢者大会

町から村からの連帯でひとりぼっちの高齢者をなくそう！十一月九日、標記の大会が高知市立自由民権記念館で開かれました。出席者九五名高退協からは五名。新婦人高知支部よりフラダンス小組の華麗でしなやかな若さ溢れるオプニングショー。森清一郎会長の挨拶のあと、彼末明事務局長より基調報告がおこなわれました。そのなかで、「この大会が「若いも若きもすべての世代がいつせいに立ち上がるべき情勢の中での開催であることとして」戦争は絶対ゆるさない」のちを削る痛みをゆるさない。我慢せずに相談し合つて、今こそ、高齢者が立ち上がり戦争の愚かさを語り、憲法二五条の健康で文化的な生活をいとなむ権利や生存権の保障など平和憲法を守る運動を基本に、励まし合い、助け合うことの大切」が強調されました。高齢者生協曾我秀秋専務理事からは「事業と活動」についての報告がありました。記念講演では高知大学教授 田中きよむ氏が「これからどうなる私達の医療や介護」と題して、(1)近年の医療費と医療保険財政の動向(2)近年の医療政策の特徴と課題(3)医療制度をめぐる今後の課題と方向(4)介護保険制度の現状と課題について具体的な統計資料等の分析による実態と課題、方向を明らかにされました。(小澤記)

高退協・「山の会」合同新年会のご案内
 第9回の高退協・山の会合同の新年交流会を、下記の要領で行ないます。多数のご参加をお待ちしています。新年会だけでもご参加できます。

1.日時 1月5日(日)8時 JR伊野駅出発
 2.日程
 第1部「新春ハイキング」小雨決行
 伊野駅から和紙の里公園経由高森展望所へ、昼食後、和紙の里公園から安芸三郎左エ門墓経由峰嶺・楨下山、又は、健脚組は和紙の里公園から(通称)鉄塔の道を峰嶺・楨下山。
 第2部「新年宴会」4時→6時
 会場「かんぱの宿伊野」で会費5,500円
 ハイキング後、送迎バスで移動。入浴後新年会
 3.申込み 参加ご希望のかたは12月20日まで下記担当へ申込み下さい。

高退協 上岡 積 088-860-0978
 お当家 加藤敏恵 088-892-0083
 渡辺 裕子 088-892-0102

0 JR 切 7:42(前山4号)伊野駅
 下り 6:37(土山山)→7:15(高知)→7:42(伊野)
 下り 18:38(前山13号)伊野
 上り 18:22(伊野)→18:46(高知)→19:19(土山山)

0 伊野まで車で来られる方は申込みのときお申し出ください。

高教組だより

執行委員長 橋元 陽一

九月二十八日(土) 伊野商業で教科別分科会(七分科会)、翌二十九日(日)には西高校で、午前中に全体講演、午後問題別分科会(四分科会)を行いました。それぞれ七〇名から九〇名近くの参加者でしたが、教職員参加と共に、開かれた教研集会のあり方が問い直されています。その方向を示したのが「学力問題」分科会でした。推進委員会の段階から保護者が参加し県教委事務局、塾関係者、保護者、私立と公立教員がシンポジストになり、三〇名の参加者と熱い討論を展開しました。全体会では「同和教育の終結と人権教育」教育基本法の意義にふれて」と題して、滋賀大梅田修教授に講演してもらいました。

一〇月に入り、二日に山田養護分会、一五日に日高養護分会、二二日に盲分会と続けて新しい仲間が組合加入しました。採用後に赴任してきた盲分会では、分会員による三年越しの声かけが行われ、加入の決意に結びついています。職場で仲間が回結し、日々の実践を学び合うことが拡大につながることを、改めて確信します。退職される組合員が多数で、高退教の会員が増えて、現職の組合員拡大が追いつかない状況が続いています。この二学期から、毎月第二週を職場会開催期間に位置付けて、「忙しいときやからこそ、集まって愚痴、悩みを語り合え、職場の要求や問題を明らかにして、分会活動をすすめていこう」と訴えています。

一〇月二日、一九九四年教員採用審査問題出題ミスに対する最高裁判決で、県教委の敗訴が確定しました。一九九八年第二審高松高裁が「本来公開すべきである」と判決を下してから、全国的に公開が進み、現在三二都道府県政令都市

今、一足飛びに自由と平和を失いつつある日本！
——住基ネットもただならぬ恐ろしい法案——

住基ネットの目指す真意は何か

住基ネットには私たちに知られたくないものが隠されている。2003年8月5日施行に向け、止めなければ、生活の全てに近いものを、知られたくない人に提供する時代の到来が予測される。

巨大な資本の投資と便利さの裏にあるものを知る学習会を急いで持ち、横浜市に見習う行動を、高知県でも1日も早く取り入れましょう。

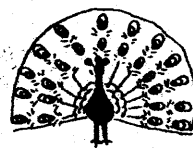
資料提供 山本景子 (消費者連盟提供)
※お一人でもお二人でもご希望があれば学習会を持ちますのでご連絡ください。
784-0042安芸市土居 439-1
でんわ0887-35-7975



で公開されています。

十月二十九日、第二回人事管理のあり方検討委員会の公聴会が行われました。一〇月前半には六月の第一回公聴会に参加した一三人の意見陳述者に対する個別の意見集約も行われています。給与へ反映することなどに対して、県教組と高教組以外に高知市教委が反対を表明していますが、日教組や独教は容認です。

県・高教組は憲法、教育基本法、子どもの権利条約、三〇勧告などに基づいた教育の直接性と共同性を追求する立場から、「評価のあり方について提言を行いました」。



相撲三知識五十一

林 勤

力士とけが・休場(2)
相撲は他の種目に比べてけがをする率が多い競技であることは前回述べたが、その競技独特の原因もさること乍ら、力士の大型化・肥満と稽古不足、過密興行にも大きな原因がある。大型化については、幕内力士の平均体重の推移をみると、明治四十二年両国国技館開館当時九九kg、昭和十八年双葉山時代一一一kg、昭和四十二年大鵬、柏戸時代一二二kg、昭和六十二年千代の富士時代一四三kg、現在一五二kg(以下は四捨五入)である。

大型化といっても、身長

はそれ程伸びてはいないのに肥満化である。肥満は内蔵疾患の原因にもなるし、稽古がきつくなる。稽古不足はまた肥満を招く。従って肥満↓稽古不足↓けがという悪循環となるので、肥満は結局けがの大きな原因となる。

重量はパワー、強さの一つであるので、大きくなりたいのは当然であるが、基本に忠実に足腰を鍛えて強くなるということよりも、まず体重をふやすことに熱心すぎると言われていることは問題である。

また、自然環境の中で足腰を鍛えるという条件がなくなつたことも、大きく言えば稽古不足に通じると思われる。昔は野山を駆け巡り、坂道をかけ上がったたり高い所から飛び下りたり、サイで滑る川原を裸足で走るなど、小さい時から自然に足腰の筋肉や関節が鍛えられ、平衡感覚も身に付けたことが、けが防止に役立っている。モンゴル育ちの朝青龍の足腰のパネの強さや動きの速さ等は天性のものもあるだろうが、昔の日本人と同じような環境で育つたことが大きいと思われる。

最近では、パワーアップの手段として、「体重をふやす、ジムなどでの筋トレに精出す」ことがよく言われている。これも勿論効果はあるが、「土俵で相撲をとらなければ強くはならない(大横綱大鵬)、土俵のけがは土俵で治せ(土俵の鬼・若乃花)」と言われているように、けがをした時には休養や医学的治療は勿論必要であるが、激しい相撲に耐える肉体は、やはり土俵(相撲)で鍛えることが基本である。

力士のけが・休場については現在の興行形態にも大きな原因があるので、これについては、次回述べさせていただきます。



スキ研修二案内

高退協スキークラブ

日程：2・4(火)〜2・7(金)
場所：山形市蔵王温泉
宿泊：蔵王国際ホテル
募集定員：20名
費用：大人約10万
申込先：原 淳
TEL 0887-152-1685

活動日誌

【9月】

- 10日 高退協事務局会
- 11日 全退教四国ブロック代表者会(川之江市)
- 17日 日中不再戦記念碑前集会
- 18日 映画「日本鬼子」上映実行委員会
- 21日 中江兆民忌実行委員会 出版記念会
- 24日〜29日 中田四一先生陶芸遺作展(偲ぶ音楽会29日)
- 25日 県教研集会第一回実行委員会
- 28日〜29日 高校障害児教研集会
- 29日 高橋 正先生出版記念祝賀会
- 30日 12・8記念集会実行委員会

【10月】

- 8日 高退協定例事務局会 第2回県教研実行委員会
- 9日 11・3記念集会実行委員会
- 10日 高校障害児教研反省会
- 13日 高知市長選スタート
- 20日 高知市長選投票日
- 24日 有事法制反対昼休み集会
- 26日 よさこい高知国体秋季大会開会式
- 29日 「こうたいきょう」広告募集

【11月】

- 2日〜3日 県教研集会(南国市)
- 5日〜6日 高退協親睦旅行(松江市方面)